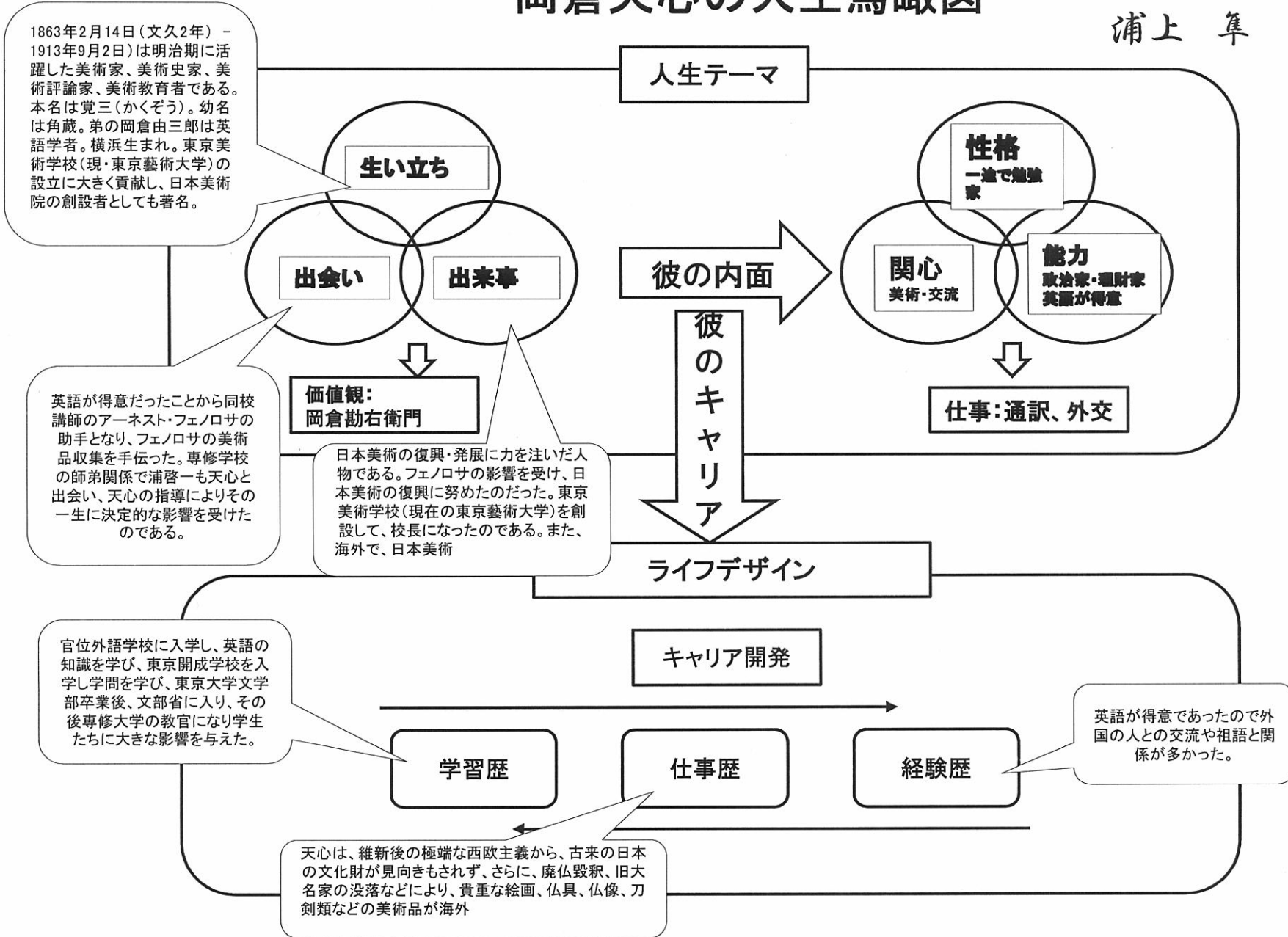


岡倉天心の人生鳥瞰図

20811055
浦上 隼



岡倉天心の人生鳥瞰図

人生テーマ

東京大学の講師のアーネスト・フェノロサの美術品収集を手伝ったことが、彼の一生がきっかけで美術家への道を歩み始めた。

彼は父の仕事の影響で英語が自在に使えるという長所を持っていたため、講師のアーネスト・フェロサ美術品収集を手伝った。そこで彼は、日本の美術の良さを知ることとなる。

若くして高い地位に上ったため、自信家であった。

▪ 抜群の英語力
・ 狭い民族主義に陥らず。
・ 広い視野で東洋と西洋のかけ橋になる。

出会い

出来事

生い立ち

江戸末機江戸末期に横浜で生まれる。彼は、貿易商の父の影響で幼い頃から英語を習い始める。彼の弟は、英語学者である

性格

仕事

能力

・ 東京美術学校2代目校長
・ 日本美術院の創設者
・ 著者として「茶の本」「東洋の理想」「日本の目覚め」

ライフデザイン

アジアは1つ

キャリア開発

学習歴

美術品収集を通じて日本とアジアの美を熟知していた。高い英語力で西洋の知識・文化を知った。

ボストン美術館の東洋部長・

仕事歴

西洋の科学技術偏重に警告を発する。英語で書物を出版し、東西の誤解を解く。

経歴